

<私たちの使命>

私たちは、建設工事・防災用品の企画製造・建設資材の販売事業を通じて、安全・安心で快適な住生活環境を創造し、地域社会に貢献します。

<私たちの目標>

私たちは、複合的な提案力を持ったプロ集団で、お客様信頼度No.1を目指します。

<私たちの行動指針>

1. 私たちは、お客様目線を大切に、気配りの行き届いたサービスを提供します。
2. 私たちは、お客様に感謝し、末永いお付き合いの中でそのご恩に報いていきます。
3. 私たちは、常に新しいものに挑戦し、付加価値の創造に全力で取り組みます。
4. 私たちは、自己の可能性を信じ、仕事を通して人間力に磨きをかけます。
5. 私たちは、社会的常識・良識・倫理観を持って行動し、法令を遵守します。
6. 会社は、社員一人ひとりの成長を支援し、社員とその家族の幸せを追求します。

今月のピックアップ

作業用プラス、災害時にも使える！便利アイテム



充電式 スマートヘッドライト UB-350

軽量&小型で持ち運びにも便利です。手をかかずだけで点灯！

京セラ エンジン発電機 EGI100



停電や自然災害などの非常時に大活躍！発電機があれば照明や暖房器具などの電源を確保することができます。

災害用工具セット



この工具が全部入ってます！



セット内容：頭機/ミニテコ/バール/ヘッドライト/マスク/手袋/カッター/養生テープ/電池/チャッカマン/ジャッキなど



TOYO ヘルメット No.110

現場作業の他に、災害時には大切な頭を守ってくれます。ひとつ所持しておくで安心！

コンパネ 簡易作業台



コンパクトに折り畳めるので収納時は場所をとりません

災害時用トイレ シン・おくだけトイレ

浄化槽、下水道のマンホールに『おくだけ』



家具転倒防止用ジャッキ 耐震君

天井と家具の隙間に挟んで面と面で支えます！



⇒ウラへつづく

庄の屋では防災グッズも各種取り扱っております！

■ 施工事例 ■ ユニットバス&シャワーユニットリフォーム



お客様に要望に合わせてサイズオーダー可能です。



AFTER

冷たいタイル張りのお風呂からユニットバスへ。床は柔らかくて暖かい「ほっカラリ床」を採用しました。



BEFORE

S様邸

ユニットバス&シャワーユニットを施工しました。

寒い季節には暖かいお風呂が一番ですよ。

システムバス：TOTO サザナ

シャワーユニット：タカラスタンダード ぴったりサイズ



BEFORE

弊社経営理念に書かれている〈私たちの使命〉

2.「私たちは、建設工事・防災用品の企画製造・建設資材の販売事業を通じて、安全・安心で快適な住生活環境を創造し、地域社会に貢献します。」

と記されている実践例がこちらになります。

シン・おだけトイレを能登半島に届けてきました

1月1日の第一報で、志賀町が実家のオンライン学習仲間に連絡を取るも、数時間返事なし。返ってきたメッセージは、「体は無事。電気も来る。でも水道が止まっていてトイレも流れない」



翌々日午後までに、別ルートで七尾市からの救援要請内容が届く。やはり水とトイレに困っている。当社のマンホール直結トイレがあれば、多くの方が助かるのに…。夕方、思い余って当社の防災トイレ担当幹部に連絡したら「社長、行くんじゃ。今からでも準備に行きますよ」

翌々日の午前に来てもらって、昼までに積み込みも完了。
午後は様々な諸用事を片付けて、4日の午前4:00に出発。

その日の午後、金沢市の手前のポーロニャのパン工場から300個のデニッシュパンを託されながら、なぎさドライブウェイで有名な千里浜の道の駅でオンライン防災の仲間と合流。何でもこの先は水が出ないとのことで、ここがトイレがちゃんと使える北限の公衆トイレ。「緊急要請車両」の札も分けてもらって、さらに愛知県から軽油を600リットル持参した市会議員や元自衛隊の精鋭とも合流し、翌朝5:30の出発に合わせて道の駅の駐車場で車中泊。



↑ 出発前・積込完了

出発後、夜明け前から大渋滞。消防車や自衛隊の車が数十台ずつ続く。道路の地割れ・陥没・崩落・土砂崩れで、片側交互通行の連続。中には、片側1車線の道の両側半分近くまで亀裂による段差が発生し、センターラインを挟んだ車1台分の道を分け合う箇所も。渋滞中に会社と連絡を取ろうとしても、途中から電波が全く繋がらず、LINE、メッセージ、au全てがアウト。



5時間半、段差ばかりの道で渋滞と闘いながら、両側に屋根の形のまま1階が押しつぶされた家を見つけて珠洲市役所に到着。総務課の課長を訪問し、緊急対策室に通されて一時保管場所の体育館へ案内される。入口のホワイトボードには、3枚にわたってびっしりと市民からの被災状況や必要物資等が書き込まれて、出そろったところで集めた物資と合わせて市民に渡していくのだけど、それだけでもう数日かかってしまう。その場の判断で、仲間たちと老健施設にそのまま手渡しに行くことに変更。そして到着。



本当に千里浜で合流出来たのもラッキーそのものだったのですが、その時に「緊急要請車両」のグループの中に入らなかったら、警察の検問でたとえ何百キロ走ってきたとしても、そこから先は入れてくれないトコロでした。知らなかったとはいえ、無駄走りになるところでした。さらに被災地支援に詳しい方から、軽油が現地では入れられないから運搬用のタンクを持って行き予備燃料を積んでおくことを教わり、それも役に立ちました。

日常とは全く違う世界で、必要物資の優先順位が刻々と変わることも肌で知りました。結論として、被災してからは何もできなくなるので、事前準備を怠りなくしておくに限ります。地域内での話し合いや、家族や会社での連絡体制、そしていの一に必要なのは水とトイレ、しかも飲料水と手を洗う水の両方が必要です。



← 到着



珠洲市では既に現地で動いている民間のボランティア団体と同行したオンライン仲間が繋がっていたので、その施設以外にも間配ってもらうことで、即使用できるようになりました。その時の喜んでくれている顔が、今でも忘れられません。でも、そんなコトになる前に備蓄の重要性を伝えていこうと思います。

仲間たちと



since1970

「安心創造企業」

株式会社 庄の屋

小松島市横須町9-28
URL:www.shono-ya.com
TEL(0885)32-2349(代)
FAX(0885)33-1201

営業時間 6:30~18:30(月~金)
6:30~18:00(土)
定休日 日曜日・第2土曜日
祝日(終日)

